

発言No.

受付No. 5

令和 4 年 8 月 23 日
10 時 13 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 5 番 氏名 沖田真治

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 空き家対策について

(1) 現状について

当市において空き家になる件数が、年々増加傾向にあり平成 30 年度時点で空き家総数 4520 戸となっており住宅総数に占める空き家率は 15.7%と全国平均 13.6%と比べ高い水準となっている。適正に管理されていない場合は周辺住民に様々な問題を引き起こす大きな課題と考え以下の通り質問する。

- ① 令和元年度から令和 3 年度までの空き家に関する相談件数を伺う。
- ② 相談を受ける内容で最も多い内容について伺う。
- ③ 現在把握している空き家総数の中で所有者が不明や不在な空き家件数を伺う。

(2) 対策について

- ① 令和元年度から令和 3 年度までに住民から相談を受け市が所有者等に対し指導などを行い改修や除却などにより、問題解決に至った件数を伺う。
- ② 令和元年度から令和 3 年度までに空き家バンクの利用件数と制度を利用し取得に至った件数を伺う。
- ③ 都市計画マスタープランに長期未着手となっている都市計画道路の見直しとある。特に旧浜田市内の市街地に多くの狭隘な道路に面して宅地が建設されているため、利活用が進まない要因となっていると思っており、狭隘な道路を整備し直すことで利用価値が増せば有効な空き家対策となるように思うが都市計画道路の整備や見直しについて市としての考えを伺う。